

菓売りの現るところ、モノノ怪の気配あり

「ナニモノ」か、より生じた抑えられぬ「情念」が「アヤカシ」と交わると「モノノ怪」となる。モノノ怪がひき起こす「怪異」が人々に襲いかかる時、謎の男「菓売り」が忽然と姿を現す。この世で唯一、モノノ怪を斬り祓うことができる「退魔の剣」を携え、荒れ狂うモノノ怪の前に一人立ちはだかる。

「モノノ怪」は、2006年にフジテレビの「ノイタミナ」枠にて異例の高視聴率を記録した「怪（ayakashii）」の一編「化猫」から派生し、2007年にテレビアニメシリーズとして放送されて以来、根強く愛され続けている作品である。その「モノノ怪」が2024年、大奥を舞台に劇場版として「新生」する。豪華絢爛な世界を絵巻物のように描き、細部まで緻密に、時に大胆に表現した美術や、CGと和紙テクスチャを組み合わせた斬新な手法、膨大なカット数と独自の色遣いにより生み出される唯一無二の映像美など、菓売りのミステリアスな魅力と相まって、「密度」の濃い世界観に圧倒される。さらに、個を殺し集団に染まることを強いられる生き辛さ、という現代にも通じる普遍的なテーマ、人間の内面に渦巻く業と願いを描く物語が深い共感を呼ぶ。誰の心にもモノノ怪の種が根づきかねない混沌としたこの時代に、切なくも強く魂を揺さぶる「救済」の物語が立ち上がる。シリーズの生みの親である中村健治監督の元に集結した、豪華キャスト・スタッフによる完全新作の劇場映画が、新たな伝説を刻む。

大奥とは、男子禁制の女の園であり、重要な官僚機構でもある特別な場所。

この地に、新人女中のアサ（黒沢ともよ）とカメ（悠木碧）が足を踏み入れる。キャリアアップを図る才色兼備のアサ、憧れの大奥に居場所を求めるカメ。正反対の二人は初日から、集団に染まるための「儀式」に参加させられる。

御年寄の歌山（小山菜美）は、大奥の繁栄と承統を第一に考え女中たちをまとめあげるが、無表情な顔の裏に何かを隠している。そんな中、少しずつ、彼女たちを覆つていく。何か。ついに決定的な悲劇が起り、菓売り（神谷早史）はモノノ怪を追つて大奥の中心まで進むが、モノノ怪を斬り祓うことができる「退魔の剣」は「形」「真」「理」の三様が揃わなければ、封印を解き抜くことが叶わない。菓売りが大奥に隠された恐ろしくも切ない真実に触れるとき、退魔と救済の儀が始まる――。



劇場版

七 夜 唐 傘



神谷浩史

黒沢ともよ

悠木碧

小山菜美

監督:中村健治

キャラクターデザイン:永田狐子 アニメーションキャラクターデザイン・総作画監督:高橋裕一

美術設定:上遠野洋一 美術監督:倉本章 音響監督:岩崎琢 色彩設計:辻田邦夫 ビジュアルディレクター:泉津井陽一

3D監督:白井賢一 編集:西山茂 音響監督:長崎行男 音楽:岩崎琢 プロデューサー:佐藤公章 須藤雄樹 企画プロデュース:山本幸治

配給:ツインエンジン エグジーボックス 制作:ツインエンジンEOTA

7月26日(金) 全国ロードショー

映倫
EIRIN

2336-A